

そよかぜ診療所、はるかぜ診療所での研修を終えて

神戸大学医学部附属病院 初期研修医 増田雅

来年度から内科専攻医となる私は、当直時に一人でエコーを当て状態評価・判断しないといけない場面が多々でてきます。そんなことを考えると将来が不安で仕方ありませんでした。そうした心情の元、エコーに触れる機会が多く、丁寧にご指導いただける院外研修先として貴院を希望しました。

エコーの持ち方さえ分からない私に、頸部エコーと心エコーを1から教えていただき月末には一人で通しで出来るようになりました。とはいっても最初の1週間は、先生方が付き添い指導して下さるため安心してエコーを学びましたし、体格が大きく描出が難しい場合や病変部位が分かりにくい時には先生方が来てくださり優しく教えて頂きました。また、消化器外科の秀樹先生の見学させて頂き、たくさんのご指導を頂いたおかげで腹部全臓器の描出を学びました。消化器専門の先生から直接ワンツーマンでご指導頂いたのは生涯において大変貴重な財産となりました。

もともと人見知りで新しい研修先で緊張していましたが、いつも明るい静子先生と一緒にいく訪問診療がいつしか楽しい午後のひと時になっていました。訪問診療では末期がんで在宅療養中の方から施設で元気な方まで幅広い患者様に会う新鮮な機会を得ました。

他にも、診療所が忙しい中でも研修医に採血をさせて頂きたくさんの経験を得られました。失敗しても血管確保のポイントを教えてくださいたり、膀胱洗浄を見たいとお伝えしても快承して下さるなど、スタッフの皆様にはお世話になりました。当院では在宅療養相談室が設置され、保険サービスや診療報酬といった大学では細かく学べない分野も担当症例を通して学べたのは大きかったです。

はるかぜ診療所では、黒瀬先生に漢方薬の使い分けや該当資料を共有して頂き、ふとした疑問にも丁寧にお答えして頂き大変勉強になりました。その後ご馳走になったランチは衝撃の美味しさでした。

休日には生野銀山や福知山城を見に車を走らせ、ある日には黒松号で天橋立を見に行きました。こちら方面に今度来た際は、貴院への挨拶はもちろん、行ききれなかった城崎温泉や竹田城を堪能したいです。

充実した非常に実りのある1か月を過ごしました。貴院での学びを今後の仕事でも活かせるよう日々精進して参ります。最後にはなりますが、診療所のスタッフの方をはじめ、最高に美味しいお昼ご飯を毎日用意して下さった岡本家の皆様には大変お世話になりました。本当に何から何までありがとうございました。